



がんばれの声で力付く選手

高校・一般の部									中学校の部					チーム名	
常石ランニング組(オープン参加)	8	7	6	5	4	3	2	1	順位	鷹巣中学校B(オープン参加)	4	3	2	1	チーム名
青年団(オープン参加)	長島町役場B	獅子島駅伝クラブ	長島OBクラブ	消防団	東町漁協	長島NRC	東陸友会	長島町役場A	川床中学校	平尾中学校	長島中学校	鷹巣中学校A	記録		
	2時間50分48秒	2時間39分53秒	2時間51分04秒	2時間41分10秒	2時間35分33秒	2時間33分34秒	2時間18分38秒	2時間17分52秒	2時間15分31秒	2時間12分41秒	2時間37分55秒	2時間44分58秒	2時間32分33秒	2時間27分46秒	2時間25分57秒
常石ランニング組(オープン参加)	2時間50分48秒	2時間39分53秒	2時間51分04秒	2時間41分10秒	2時間35分33秒	2時間33分34秒	2時間18分38秒	2時間17分52秒	2時間15分31秒	2時間12分41秒	2時間37分55秒	2時間44分58秒	2時間32分33秒	2時間27分46秒	2時間25分57秒



スタート1分前

区間賞記録																							
高校・一般の部					中学校の部																		
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	区間	選手名	チーム名	記録									
梅田祐希	長元耕平	加世堂栄彦	樋渡速太	小川航平	濱村文和	中村海斗	田ノ上尚吾	石田亮太	藤崎奏斗	中村	小川	濱島大海	常良	記録									
長島NRC	東陸友会	長島町役場A	長島町役場A	長島町役場A	長島町役場A	長島町役場A	長島町役場A	東町漁協	東町漁協	長島中学校	長島中学校	長島中学校A	長島中学校A	記録									
13分19秒	10分16秒	12分09秒	15分37秒	13分34秒	11分16秒	13分32秒	12分58秒	11分04秒	9分04秒	7分13秒	13分06秒	10分26秒	12分30秒	10分09秒	10分13秒	6分43秒	9分57秒	11分12秒	8分51秒	7分27秒	10分31秒	8分56秒	7分28秒

※赤は新記録

11月15日、第70回長島一周駅伝競走記念大会があり、全長36・2キロのコースに中学校の部5チーム、一般の部10チーム合計180人が出場し、健脚を競いました。今年は、町制施行20周年記念事業の一環として行われ、鹿児島県警察から白バイ隊が例年より多い7台と、有限会社獅子島汽船で今年度運行を開始した客船「ししじま」を建造した、常石グループから「常石ランニング組」がオープン参加。このほか、テレビ局のドキュメンタリー番組も収録されました。

開会式では、大会会長の川添健町長が「絶好の駅伝日和となつた。これからのがんばれ。」と、仲間の思いが込められた。発着地の町役場前で各チーム第一走者の名前が呼ばれるとき、選手たちは懸命に足を前に持ちでスタートラインに整列。午前10時に号砲が鳴ると、仲間の思いが込められたときを胸に15人の選手が勢よく駆け出しました。

沿道では、関係者や地域住民からの声援が飛び交う中、選手たちは懸命に足を前に進みます。



常石ランニング組軽快にゴール

永年選手									
10年選手賞	15年選手賞	20年選手賞	25年選手賞	30年選手賞	35年選手賞	山口剛(長島町消防団)	梅田祐希(長島NRC)	門元祥太(長島NRC)	濱村要(東陸友会)
濱村文和(東陸友会)	城戸翔平(長島町役場B)	門元祥太(長島NRC)	梅田祐希(長島NRC)	山口剛(長島町消防団)	梅川稔(獅子島駅伝クラブ)	梅川昭太(獅子島駅伝クラブ)	梅田祐希(長島NRC)	門元祥太(長島NRC)	濱村要(東陸友会)
優勝した鷹巣中学校	優勝した鷹巣中学校	優勝した鷹巣中学校	優勝した鷹巣中学校	優勝した鷹巣中学校	優勝した鷹巣中学校	優勝した鷹巣中学校	優勝した鷹巣中学校	優勝した鷹巣中学校	優勝した鷹巣中学校



仲間の思いを次の区間へ



鹿児島県警白バイ隊

出して思いを繋げました。

常石ランニング組の島田文彦主将は「長島のアップダウントラップ」以上。苦手な走りは、耐えがたきを耐え、健脚を競いました。風光明美な長島町を堪能することもでき「満足」と爽快な笑顔を見せ、中学校の部で優勝し、第1区の区間記録を更新した建山陽斗さん(3年)は「チーム全員で練習をがんばって優勝できてよかったです。自分の限界を超えた。自分たちの健闘を祈る」とあいさつ。発着地の町役場前で各チーム第一走者の名前が呼ばれると選手たちは緊張の面持ちでスタートラインに整列。午前10時に号砲が鳴ると、仲間の思いが込められたときを胸に15人の選手が勢よく駆け出しました。

沿道では、関係者や地域住民からの声援が飛び交う中、選手たちは懸命に足を前に進みます。

常石ランニング組の島田文彦主将は「長島のアップダウントラップ」以上。苦手な走りは、耐えがたきを耐え、健脚を競いました。風光明美な長島町を堪能することもでき「満足」と爽快な笑顔を見せ、中学校の部で優勝し、第1区の区間記録を更新した建山陽斗さん(3年)は「チーム全員で練習をがんばって優勝できてよかったです。自分の限界を超えた。自分たちの健闘を祈る」とあいさつ。発着地の町役場前で各チーム第一走者の名前が呼ばれると選手たちは緊張の面持ちでスタートラインに整列。午前10時に号砲が鳴ると、仲間の思いが込められたときを胸に15人の選手が勢よく駆け出しました。

沿道では、関係者や地域住民からの声援が飛び交う中、選手たちは懸命に足を前に進みます。